



子育て支援センター

☎ 985-4151

主に就園していない子どもとその親を対象に活動していますが、内容によって小学生、就園児、妊婦なども参加できます。

7 月 活 動 案 内	行事	親子ふれあいサークル		フレンドサークル	育児わくわくサークル	保育交流サークル	
	内容	親子あそびの体験(リズムあそび・製作あそび・お話など)		親子の友だちづくりや自主活動の場	育児講座	保育施設でのあそび体験	
	コース名	ほほえみクラブ	ひまわりクラブ	フレンドクラブ	ママでスクール	まさきっこクラブ	
名 称 日・曜	西公民館	くま(2歳以上)	4日(金)	リフレッシュ体操 (親対象)	1日(火)	「まさき野々っ子くらぶ」 ～自然とのふれあい～ 日時:9日(水)10:00～ 場所:中川原公民館、ひよこたん池公園 講師:NPO法人自然環境教育えことのは 内容:小さな子どもとお母さん、お父さんのためのおさんぽの会です。 ○要予約8日(火)まで ※先着15組	古城幼稚園 3日(木)
	8日(火)	スクールキッズ	5日(土)	フレンド2歳(年齢別)	2日(水)		
	北公民館	のびのび	11日(金)	ブックフレンドパーク (10:00～15:00～)	7日(月)		
	16日(水)	ひよこ(0歳)	25日(金)	バルーン(妊婦対象)	9日(水)		
	東公民館	うさぎ(1歳)	30日(水)	フレンド1歳(年齢別)	10日(木)		
23日(水)			あそび工房(プール遊び)	15日(火)			
場所	各公民館	松前町総合福祉センター				各保育所・幼稚園	
その他	<p><b>サークル活動に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登録をしてから各コースに参加できます。(随時受付。予約が必要な場合以外は、当日参加登録も可能)</li> <li>○時間の記入がない場合は、すべて10:00～11:30に実施します。</li> <li>○予約や年齢・対象が記入されていない場合は、予約なしでどなたでも参加できます。</li> <li>※ 詳しくは、子育て支援センター発行の毎月の活動チラシ及びHPや下記までお問い合わせください。 <a href="http://www.town.masaki.ehime.jp/koce/">http://www.town.masaki.ehime.jp/koce/</a></li> </ul> <p><b>子育て相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て相談「ちょっと聞いてコール」 毎週月～金曜日 9時～17時(予約相談の場合は、左記時間外も可能)</li> <li>・電話、面談、家庭訪問など希望に応じて実施します。</li> <li>○ふらっと子育て応援隊 随時予約を受けて実施します。</li> <li>・サークルの運営や、親子遊びのアドバイスなど担当者が出かけていってお手伝いします。</li> </ul> <p><b>まさきファミリー・サポート・センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎育児の手助けを有料で行う会員登録制の組織です。</li> <li>○育児援助に関する相談及び登録説明を随時行っています。上記まで気軽にご連絡ください。</li> </ul>						

予約・問い合わせ ☎985-4151

子育て相談/まさきファミリー・サポート・センター共通 ☎960-3269

ふるさと歴史散歩③⑧

松前町の重信川渡し巡り

(松前史談会レポート)

重信川の河川敷には、松前町教育委員会が建てた渡し跡を示す5本の標柱がある。上田常光先生が教友会誌“龍燈”に発表された“郷土「松前町の重信川渡し」”のコピーを遠藤雅之さんからもらったことが今回の企画の契機。戒田光一先生、玉井桂先生のご教示、北川原33か所観音巡りの時に地元の茂川桂区長さんたちに案内して頂き、北川原の渡しをはじめて目にしたことなどから、その後何度も訪れることになり、実行された。皆さんのお陰と深く感謝しております。

“明治期、松前町を流れる重信川には、5か所の渡し場があった。上流から、中川原村と古川村を結ぶ中川原渡し、大間村と市坪村を結ぶ大間渡し、西高柳村と余戸村を結ぶ出合渡し、北川原村と東垣生村を結ぶ北川原渡し(三津渡しともいう)、北川原村塩屋と西垣生村を結ぶ塩屋渡しである。当時は重要な道路の中継地点であり、中には、明治・大正・昭和の3代にわたって利用されたものもある。”と冒頭に言う。上田先生は、多くの聞き取り調査をされているが、昭和20年代まで続いた渡しもあり、私たちも、70歳前後の方までには渡し舟の話が聞くことができた。特に面白いことに、明治期の地図には渡しの記号が記載されている。古い掛け軸で見ると、舟のような細い舟に船頭が立って竹竿をさしている形で、思わず笑ってしまった。

① 北公民館で車に分乗。まず、「三津の渡しへ五丁」と記した石碑を。東レ北門前を通り、国近川の河口へ出る。塩屋海岸は、伊予灘と白砂が美しい公園として整備され、ボランティアによる清掃や絶滅危惧植物の保存活動も行われている。重信川河口で休憩。雄大な景色を楽しみながら、松前平野の成り立ちに思いを馳せ、語り合った。

② 塩屋の渡しは、河口大橋の少し西にあった。今も、塩屋橋で国近川を渡り、塩屋の集落の真ん中を抜けると重信川の堤に出てここで合流する。この道に面して和多都見神社がある。河口大橋の南詰めに小さな店があり、お婆さんがいたのをぼんやりと覚えている。河口大橋では、360度の絶景に圧倒される。皆さんも是非ここに来て、松前町がどんなに素晴らしい場所にあるか、伊予灘の夕日がどんなに美しいか体験してほしい。(次号に続く)



▲重信川河口  
後方に興居島が見える



▲塩屋渡し  
後方に見えるのは河口大橋

次回、7月12日(土)は、8時30分、西公民館前に集合。松山藩と大洲藩の藩境巡りをします。

問い合わせ 松前史談会(鷺野) ☎984-5439